



福島市小中学校PTA連合会

福島市連P会報

ゆきうさぎ

Vol. 82
2023. 3. 6

〔発行〕
福島市小中学校PTA連合会
会長 安藤 正希

〔編集〕
広報委員会
委員長 阿部ゆかり

〔印刷〕
株式会社クサカ印刷所
福島市東浜町7-35

教頭時代から自分に課した学校での業務（半分趣味ですが）は、種から花を育てることです。咲いた花を大量にポットで買うよりは安上がりと考え、仕事の合間を見つけて取り組んできました。

今年度も、春にはサルビア、秋にはパンジーなど数種類の種をまきました。種まきやポット・花壇への移植は子どもたちにも手伝ってもらい、玄関前や



福島市小・中学校長会協議会

会長 丹治 秀樹（福島第四小）

根を伸ばし、花を咲かせる

校庭の花壇は、十一月頃から色とりどりのパンジーやビオラが咲いています。同じ時期にまいた種でも成長には差があり、花を咲かせ始めていても、ポットから抜く根つこがみっちり張っているものと、そうでないものがあります。根が十分伸びていない苗には、花壇に移植後もしばらく水やりが必要で、育てた小さな苗の全てがそれぞれの色の花を咲かせ、私たちの目を楽ませてほしいと願い、休日でもつい手をかけ目をかけてきました。まるで、子どもたちが育てる親や教師の心持ちに似ています。



日頃よりPTA活動にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございました。今年度もコロナウイルス感染拡大の影響で、多くのPTA活動が制限されることを余儀なくされました。どのようにしたら活動ができるか試行錯誤でしたが、今までのPTA活動のやり方・あり方を考え、新たな考え方や取り組みを生み出すきっかけになり



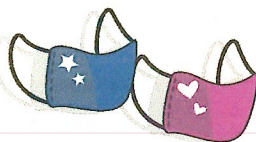
福島市小中学校PTA連合会

会長 安藤 正希（西根中）

今年度を振り返って PTAはつながりの場

決して悪いことばかりではなかった一年だったと思っています。今後も、時代の流れに合わせたPTA活動に取り組んでいきたいと考えております。今年度の各専門委員会活動では、数年ぶりに開催できた・やむなく中止になった活動がありましたが、顔を合わせての委員会打ち合わせだけでも開催できたことは、大変意味のあるものでした。お忙しいところ対応していただいた事務局委員長と先生に感謝いたします。

委員会に集まった各単P会長・副会長から、「他の学校はどのような活動をしているか、コロナで集合できないので情報交換をした」という声が多数ありました。PTA活動は子どもたちのために、は当然のことながら、PTAにかかわるすべての人のつながりの場であることも強く感じました。PTA活動を通して学校・保護者・地域とのつながりを作り、人生を豊かにできるようなPTA活動にしていきたいと思っています。



魂は引き継がれる
福島市立水原小学校長 菅野 靖
今年度をもって水原小学校は、五十年の歴史に幕を下ろしますが、学校の歴史と伝統は未来永劫に消えることはありません。仲良く思いやりあふれる優しい水原っ子の魂、子どもを暖かい愛情で包み育てる保護者の皆様の思い、地域一丸となって育てる水原地区の教育力は、松川小学校で引き継がれ、松川の未来を創造していくものと信じています。



統廃合にあたり

閉校に寄せて
福島市立中野小学校長 佐藤 友子
本校は、明治六年に医王寺のお堂を借りて開校以来、地域に支えられ、地域を支える学校として百四十九年の歴史を刻んで参りました。仲良くかしくこのびのびと育ったこぶしっ子、いつも全家庭参加の協力的な保護者の皆様、地域の宝である子どもを見守り育てる中野地区の方々、中野地区の伝統と教育力は新飯坂小学校へ引き継がれます。新たな歴史を刻み大きく前進していくことを祈念申し上げます。



伝統を受け継ぎ

福島第一小学校 校長 横山貴英

創立百五十周年を迎えた本校は、実行委員会が組織され、保護者、地域の方々、学校職員が丸となって記念事業の推進に取り組んできました。昨年十二月に組織及び方針が決まり、十五回にも及ぶ実行委員会を経て、本年十一月十九日に「こむこむ館」において記念式典・記念講演会を開催しました。

また、記念事業として、本校の歴史的収蔵品の展示会開催、記念誌・記念品作成、創立百五十周年と関連



創立五十周年記念行事

蓬萊小学校 校長 石井隆博

十月二十九日の土曜日、創立五十周年の記念式典が執り行われました。開式のあと、校長の挨拶に続き、実行委員長、PTA会長が挨拶を述べ、袖幕と背面カーテン幕の寄贈が紹介されました。児童を代表し六年生の八巻圭佑君の作文発表、創立からの五十年を振り返るスライド



上映、そして会場の全員で校歌を合唱し閉式となりました。昭和四十八年の開校当時は、蓬萊地区にも開校の途上であり、周囲にはまだ空地も多くありました。校舎も南校舎と北校舎、体育館しか完成しておらず、翌年に西側の校舎ができてようやく竣工となりました。開校年度の児童数は二六五名、蓬萊ニュータウンの開発とともに一気に児童数が増加し、昭和五十六年度の記録には一、七四九名とありました。スライド上映では、建設中の学校や開校一年目の入学式の様子、児童であふれる教室や体育館、校庭の様子なども映し出され、みな目を丸くしながら食い入るように観ていました。

施することができました。これらのことが学校の歴史と伝統を知る貴重な機会となり、児童、教職員ともに改めて学校に対する誇りと責任を実感し、伝統を受け継ぎ、新

百五十周年の不易

大笹生小学校 校長 高橋俊勝

本校は今年度百五十周年を迎え、福島市長様並びに教育長様のご臨席を賜り記念式典を行いました。

また、地元のエアリースパイロット室屋義秀氏から、夢や目標を実現するための自分の在り方について記念講演をいただきました。大切な節目の一年でした。



室屋 義秀氏

たな一歩を進める思いを強めることができました。ご支援・ご協力いただきました皆様に心より感謝申し上げます。

創立記念 おめでとう ございます

知恵と団結

鳥川小学校 校長 島田祥司

実行委員や同窓会、元・現PTA会員のみなさんが中心となって成功に導いた創立百三十周年記念式典。

創立百周年の時に埋めたタイムカプセルの開封、同窓会員や来賓への案内、感謝状や記念品の準備、式典の運営や会場作成、そして新型コロナ対策など、話し合いを重ね、連絡を密にしなが、みなで力を合わせて、一歩一歩準備を進めました。

式典当日、四年生以上の子どもたちも一緒に、鳥川小学校の輝く歴史と力を尽くしてくださった先人の歩みをお祝いすることができました。

歴史を守り、伝統を創る

平田小学校 校長 佐藤裕子

令和四年十一月二日（水）、福島市立平田小学校は創立百五十周年を迎えました。この大きな節目の年、四十



来賓をお出迎える6年生とP役員

七名の児童が十名の教職員に誘われ、歴史と伝統ある学び舎で、伸びやかに学校生活を送っております。

創立百五十周年を迎えて

佐倉小学校 校長 黒羽慎一

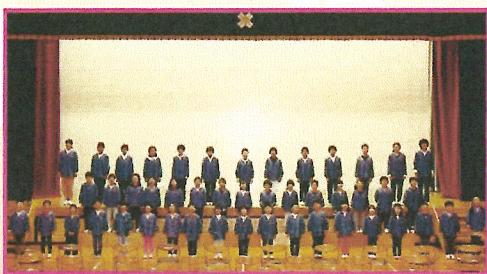
本校の歴史をたどると、創立は組合立上島渡小学校からスタートしました。その後三十年の時を経て、校名に佐倉の名称が使われました。したがって、今年度は、創立して百五十周年、佐倉小学校として百二十年周年になります。

現在は、全校生百五十名の学校です。男女仲よく、元気に学んでいます。先日、七十三年前、本校に寄贈されたピアノを西学習センターに移送しました。センターを訪れる方々に、歴史を感じながら演奏していただければ



十月二十二日（土）の「創立百五十周年を祝う会」では、全校児童が合唱曲「Believe」を堂々と歌い上げました。「未来の扉を開けるとき」は、どんな時代も苦しみや悲しみがつきものです。子供たちには、母校平田小で友とともに汗を流し学んだことを糧として、苦しみや悲しみはいつの日か喜びに変わると信じ、激動の二十一世紀を力強く生き抜いてほしいと願っております。

百五十周年記念行事は、学校と地域が一体となり、新たな一歩を踏み出すターニングポイントとなりました。児童と、教職員と、地域の



力を子どもたちに育んでまいります。

福島県PTA研究大会in白河

「誰もがヒーロー、ヒロイン。あきらめずにチャレンジしてみよう。」

福島市小中学校 PTA連合会 副会長 二階堂 義 樹 (森合小)

今年度の福島県PTA研究大会は、白河市において十月二日に新型コロナウイルス感染症の第七波が落ち着いた中、四年ぶりの対面開催で実施されました。全体会記念講演では、白河の「ご当地ヒーロー」「ダルライザー」のプロデュースと和知健明氏から地域創生や子供たちに伝えたいことなどを自身の半生を通じて講演いただきました。

皆様も幼いころに戦ったヒーロー、ヒロインになりたいと夢見たことがあったことと思います。ではヒーロー、ヒロインとは超能力や特別な道具

財政委員会

委員長 小野 勇 樹 (水保小)

今年度の活動を振り返って

今年度は昨年度の反省をもとに、「早めの活動」「状況をみながらも出来るだけ委員会を開催する」ことを目標に財政委員会の仕事をスタートしました。

今年度も各単Pに要望書に関するアンケートを行い、その回答と昨年度の要望書の回答を基に「令和五年度教育予算に関する要望書」を作成することが出来ました。今の教育現場の実情と、子どもたちが何を考え必要としているの

だったことから、ほんのわずかな一歩を踏み出す勇気があれば、自分の世界が広がり、夢に近づくことができるかと教えてもらえました。

次に自分が参加した分科会では、健全育成区分「スマホ時代」に生きる情報モラルの支援について、静岡大学 塩田慎吾准教授にご講演いただきました。内容の一部を紹介すると「情報モラルを活用するスキルを身に付けてあげるには？」、「使いすぎってどうしようしたらよいの？」、「自撮りトラブル」から身を守るには？」といった具体的な問いに対して、ミニワークや隣席者と議論することで子供にどのように関わってあげればいいのかを学ぶ機会となりました。



かを委員会を開催し皆で考えた新たな要望書を作成することができました。十一月十日に、安藤連合会長はじめ七名で福島市教育委員会並びに市議会議員に要望書を提出し意見交換を行うことができました。佐藤教育長からは、要望書全般として教育現場からの貴重な声として真摯に受け止め、学校教育の充実に向けていくとのこと言葉を頂きました。財政委員会の活動を通して

教養委員会

委員長 目 黒 貴 裕 (福島第二中)

新たなチャレンジが大切...

コロナ禍により、様々な学校活動やPTA活動が制限される中、今年度の教養委員会では、委員会での三回の議論を経て、過去二年間、中止を余儀なくされてきた歴史ある「市小中学校PTA研究大会」の内容を「教養講座」に変更し、さらに、各校のPTA会員に動員をかけ、大きな会場で開催する形式から、コロナの状況を踏まえ、どこにいても聴講出来るようオンラインで十月七日(金)に開催しました。(※録画データの配信を希望する声を受け、令和五年二月二十八日までYouTubeによるアーカイブ配信も実施しました。)

今回の講座では、「共生社会の実現」をテーマとし、県

進路対策委員会

委員長 佐 藤 崇 (岳陽中)

子供たちの未来につながる進路対策について

進路対策委員会は卒業後の進路選択が、適正に、しかも円滑に行われるよう活動しております。本年度の活動として、まず六月十三日の県北地区進路対策委員会総会ではコロナ禍により書面開催に変更となりました。

続いて九月五日の常任委員会は、七月に各中学校から集約した私立高校への要望・意見の確認、検討をし、九月十六日に県北地区の各私立高校を進路対策委員長、同副委員

した。

このコロナ禍は、児童生徒の生活、保護者の生活はもとより、PTA活動等にも様々な影響をもたらしています。しかし、このような中でも、従来のやり方にとらわれず、ポストコロナ時代をしっかりと見据え、児童生徒・先生・保護者が皆で知恵を絞る、工夫を凝らしながら、新たなことにチャレンジしていくことが

厚生委員会

委員長 高 橋 克 幸 (佐倉小)

コロナウィルス感染症拡大の中、バレーボール大会が親善大会として三年ぶりに開催出来ました。

バレーボール大会は、家庭バレーボール協会が主となり大会を運営していて、厚生委員の役割は例年駐車場係が主

を統一していただけるようお願いいたします。調査書を公立高等学校と同一様式にしたり、WEBによる出願受付や受験料の振込による受付が可能となったりするなど、事務手続きにつきましては働き方改革の視点からも、より簡略化・軽減いただきましたようお願いいたします。等の内容ですが、各私立高校の校長先生をはじめ先生方にはとてもよくご理解していただき、前向きな回答をいただくことができました。

これからも、子供たちが安心して進路を判断できるように保護者・学校が一体となり、進路対策活動を進めていきたいと思っています。

大切であると考えており、今回のオンラインによる取組もその一助となれば幸いです。

最後に、大変お忙しい中、今般の講座開催にご協力いただきました市連Pの安藤会長をはじめ、本部役員の菅藤副会長、二階堂副会長、教養委員会委員を務めていただきました十三名の各校会長の皆様



広報委員会

委員長 阿部 ゆかり
(庭塚小)

「広報紙」コンクールを開催

令和五年一月十三日に庭塚小学校において、福島市小学校連合会PTA広報紙コンクールの審査を行いました。コンクールには小中学校、特別支援学校 三十七校の出

品があり、最優秀校として選ばれたのは、小学校の部で野田小学校、中学校・特別支援学校の部で第四中学校が受賞されました。また特別賞に飯野中学校・平野中学校が受賞

健全育成委員会

委員長 加藤 幸恵
(蓬萊小)

健全育成委員会の活動について

今年度も、コロナ禍により次年度以降の活動についての協議を行う年となりました。

十一月に行われた健全育成委員会において、委員の皆さんのPTA活動や抱えている問題など様々な意見があり、有意義な話し合いとなりました。やはり皆さんの意見で多かったのは、児童数の減少でPTA活動にも影響が出ているということでした。

今後は、各地域の特色を踏まえ様々な声を取り上げる場を設け、他の地域の声を聞くことで、自分たちの地域に合った方向を見出し、改善への糸口になればと考えています。それは、以前にも増して学校間や地域間における連携が深まることにも繋がっていくことだと思います。

今後は皆様の協力が必要となります。宜しくお願いします。

家庭教育推進委員会

委員長 渡 邊 盛 宏
(鎌田小)

対面での研修会開催実現に向けて

本年度、家庭教育推進委員会では、各単Pの家庭教育推進委員の知識習得および情報交換の場となる全体研修会を、対面で開催することを基本方針として幹事会を開催し、研修会の実施に向け進めてきました。

しかしながら、研修会開催の可否を決定する十一月下旬に、新規陽性者数が第八波に入ると県の発表があり、市

品があり、最優秀校として選ばれたのは、小学校の部で野田小学校、中学校・特別支援学校の部で第四中学校が受賞されました。また特別賞に飯野中学校・平野中学校が受賞

研修会の中止にあたり、各単Pの委員の皆さん、研修会開催に向けご尽力いただいた執行部、幹事の皆さん、ご準備いただいた講師の先生へ感謝を申し上げ報告いたします。



されました。どの広報紙も素晴らしい力作ばかりでした。来年度もまた素晴らしい広報紙を期待しています。最後に関係の皆様のご協力に感謝申し上げます。

令和4年度
市連P広報紙コンクール受賞校

小学校の部	
◎最優秀賞	野田小学校
○優秀賞	清明小学校
○優秀賞	三河台小学校
○優秀賞	清水小学校
○優秀賞	下川崎小学校
中学校・特別支援学校の部	
◎最優秀賞	福島第四中学校
○優秀賞	福島第一中学校
○優秀賞	松陵中学校
☆特別賞	飯野中学校
☆特別賞	平野中学校

小学校の部

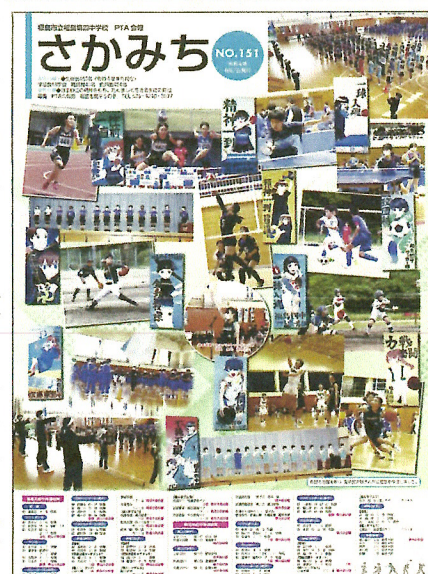
この度は最優秀賞という栄えある賞をいただき、誠にありがとうございます。私たちは、生き生きと活躍する子どもたちの姿や先生方の人柄に触れられることができるといった見えたところがある



力してくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。野田小学校父母と教師の会
広報委員会代表 菱沼 絵美

中学校の部

この度は名誉ある賞をいた



広報紙を目指してきまた。また、委員会活動のスリム化に伴いSNSを活用した活動を展開してきまた。今回、このような評価をいただいた事で改めて広報紙の存在意義を感じております。協力してくださった皆様に感謝申し上げます。ありがとうございます。

まだ、誠にありがとうございます。また、行事の中止・縮小が続く中、一生懸命頑張る子どもたちの様子を伝えたいという思いで、写真を中心に作った広報紙でした。ご協力いただいた先生方や役員さん、そしてデザイナーさん、関わってくださった全ての皆様に感謝申し上げます。

福島第四中学校
PTA広報部長 菅野 弥生

編集後記

子供たちの成長を見守れる社会に

昨年度も地震や水害、三年続いてるコロナ禍により福島県は大変な一年でありました。そんな中でも学校の先生達は子供の安全、家庭の安全を考えた様々な制約がある中リスクを最小限に抑えながら子供たちの為に素晴らしい活動をして下さっております。PTAにおきましても、やむなく活動の自粛や延期、中止を決定せざるを得ないシーンも有りますが、出来る事を少しずつ進めて行き今後も

六年連続全国入賞の榮譽

この度は日本PTA全国協議会会長賞受賞、そして六年連続全国入賞の榮譽を授かり、広報紙作成にご尽力いただきました関係者の皆様に深く御礼申し上げます。

生徒・先生・保護者のアンケートを中心とした当校伝統の紙面づくりは、生徒の学校生活やPTA活動を保護者や地域の皆様に広く周知するといった情報提供の一翼を担ってきまた。学校行事の中止や縮小が続くコロナ禍ではその重要性が増してきたと感じています。

表彰式でも広報紙に対する関心の高さをうかがい知ることが出来ました。今後も活きた学校の情報や生徒の様子をお届けできるよう取り組んでまいりますので、引き続き「KONOREBI」をよろしくお願い致します。

飯野中学校PTA
会長 府野 隆紀

先生方のお手伝いや負担軽減につながるよう活動し、子供たちの成長をそばで見守って行きたいと思っています。様々な災害を経験しているからこそ、改めて考える、行動し自分達の榮養にしていきたい様に行動して行けたらと思います。

今後益々進んで行くであろうデジタル化や新たな時代の中で変革を好機と捉え、何事にも積極的に挑戦できる体制を学校・保護者・地域で連携して協力し対応しなくてはならないと改めて感じました。災害や感染の恐れのある非常に制約がある中ではありま

この度は全国コンクールにて名誉ある賞を頂戴し、誠に光栄に思っております。広報紙作成にご協力くださった先生方、生徒、保護者の皆様に心より感謝申し上げます。

学校生活、PTA活動ともに制限がある今だからこそ、PTA広報紙が学校と家庭をつなぐ大きな役割を担うと感じております。学校の様子を直接目にする事が出来ない分、発行回数を増やし、見て楽しめる写真選びや文章作り、また家族で話し合うきっかけになるような特集を設けるなど工夫をいたしました。今回の受賞を励みに、より良い広報紙作りを目指して活動してまいりたいと思っております。

平野中学校PTA
広報委員長 紺野めぐみ

令和4年度市連P広報委員名簿

No.	学校名	会員名
1	福島第四小学校	伊東 正嗣
2	森合小学校	二階堂義樹
3	佐原小学校	本田 貴大
4	飯坂小学校	斎藤 卓也
5	平野小学校	原田 茂浩
6	鳥川小学校	野地 幸次
7	大森小学校	大槻 秀一
8	庭塚小学校	阿部ゆかり
9	福島第四中学校	伊藤 茂雄
10	大島中学校	菅原 佳和
11	平野中学校	吉田 実
12	信夫中学校	鈴木 彩一
13	吾妻中学校	矢野 順一

したが沢山の皆様の大切な時間と協力を頂きながら「福島市連P会報」第八十二号を発行出来た事を心より御礼申し上げます。新年度が今まで以上に素晴らしい年と社会になります様願っております。
(広報副委員長 吉田 実)